

第4章

食と農業・農村の振興に関する施策の展開方向

- 1 基本目標
- 2 施策の基本方向
- 3 施策体系
- 4 施策の展開

第1節 夢に挑戦する農業

- (1) 夢ある農業を実践する経営体の育成
- (2) 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産
- (3) 信州ブランドの確立とマーケットの創出
[農業生産構造の目標等]

第2節 皆が暮らしたい農村

- (1) 農村コミュニティの維持・構築
- (2) 地産地消と食に対する理解・活動の促進
- (3) 美しい農村の維持・活用



1 基本目標

夢をかなえ人を結ぶ信州の農業・農村

豊かな自然環境の享受と活用、農と食及び農業者と消費者の結びつきの深化を基盤に位置付け、意欲ある農業者の目標たる夢の実現と、人と人の交わりによる農村の新たな魅力や活力の創出に向け、これからの本県の食と農業・農村の振興に当たっての基本目標を「夢をかなえ人を結ぶ信州の農業・農村」に設定します。

2 施策の基本方向

基本目標の実現のため、今後の5年間においては、農業・農村が大きな転換点にあることを踏まえ、産業としての農業の振興と暮らしの場としての農村の創造に向け、次の2つの基本方向により施策を総合的に展開します。

(1) 夢に挑戦する農業

- 長野県農業を築く農業経営体の姿を明確にし、意欲ある若者の就農への挑戦、経営規模拡大への挑戦、新しい品種・品目・技術への挑戦、6次産業化等への挑戦など、農業者・組織経営体のステップアップへの取組を進めます。
- 意欲ある農業者が、本県の豊かな自然環境等を背景に、消費者等が望む品質、減農薬等のこだわりのある農畜産物を、自信と誇りを持って安定的に供給し、その活動により、他産業と比較しても魅力ある所得を確保できる取組を進めます。
- 戦略的なマーケティングにより、信州産農畜産物のブランド化と販路拡大、産業間のアプローチ及び他産業との連携など産業基盤の強化と信州産農畜産物等の価値向上を進めます。

(2) 皆が暮らしたい農村

- 美しい農村に暮らす人々のみならず、都市部からの移住・交流者も加わり農村コミュニティの活動が強化され、営農活動が継続される中で、自然・景観・伝統文化等の多様な地域資源を守りつつ経済的にも活用し、県民はもちろんのこと都市部や諸外国の人々の憩いの場となるとともに、世代等を超えた交流が盛んに行われ、新たなビジネスの展開等により出番と役割のある精神的に充実度が高い空間の創出を進めます。
- 地域で生産される農畜産物の地場利用等と、食の大切さや健康に対する理解醸成や伝統食の継承等を通じた食育推進活動の相互連携により、誰もが暮らしたいと感じる魅力ある農村の食文化の形成を進めます。
- 美しい農村を維持するため、地域の共同活動、自然エネルギーの生産・利用及び県民が安心して暮らせる環境整備を進めます。

3 施策体系

夢をかなえ人を結ぶ信州の農業・農村

食・消費者

I 夢に挑戦する農業

1 夢ある農業を実践する経営体の育成

- ア 高い技術と経営力を持つ企業的農業経営体の育成
- イ 地域農業を支える活力ある組織経営体の育成
- ウ 新規就農者の育成
- エ 企業の農業参入等の促進

2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産

- ア 消費者や流通の変化を的確に捉えた農畜産物の生産振興
- イ 自然の力を活かした環境農業の推進
- ウ 農畜産物の安全性確保
- エ 信州農畜産物の生産を支える農地・水、技術

3 信州ブランドの確立とマーケットの創出

- ア 信州農畜産物のブランドの確立
- イ マーケット需要の把握による戦略的な生産・販路拡大と輸出促進
- ウ 6次産業化の推進

農業生産構造の目標等

II 皆が暮らしたい農村

1 農村コミュニティの維持・構築

- ア 中山間地域等における農村コミュニティの維持・強化
- イ 都市近郊地域等における農村コミュニティの強化

2 地産地消と食に対する理解・活動の促進

- ア 地産地消の推進による信州農畜産物への共感
- イ 食育の推進による豊かな人間形成と健康長寿

3 美しい農村の維持・活用

- ア 農山村の多面的機能の維持と環境保全
- イ 農村資源の利活用の推進
- ウ 安全で快適な農村環境の確保と防災・減災